



Japan Super Youth Mandolin Orchestra

JSYMO（ジャパン・スーパーユース・マンドリンオーケストラ）とはプロの指揮者及びマンドリン属・ギター・コントラバス演奏家のもと、アンサンブルを中心としたトレーニングを行う育成プログラムです。



◇マンドリンとは

マンドリン並びにマンドリン属の楽器は、脇に抱えた楽器を右手に持ったピックというもので弦を弾く、いわゆる撥弦楽器と呼ばれるものです。ピックを通して弦を捉え、感じ、弾く圧やスピードで音色を多彩に変化させる事ができる奏法は、鍵盤楽器に例えているならばピアノというよりはチェンバロに近い、繊細で美しい音色のする楽器です。

◇JSYMO 設立の背景

マンドリンとマンドリン属の楽器にギターやコントラバスを加えた合奏形態であるマンドリンオーケストラは、愛好家はいるものの、音楽ファンの間に確固たる市民権を得られていません。なぜか？

- ①演奏法が、一つのメソッドとして体系化されていない
- ②各団体はそれぞれ熱心に活動しているが、マンドリン音楽教育の現場に携わる指導者の奏法や、音楽性を共有する機会がなく、お互いを理解する機会の無いまま個々の活動で終わっている。
- ③素晴らしいプロフェッショナルの演奏家は世の中にはいるものの、それらの方々が一堂に会して合奏や交流をする機会があまりない

マンドリン音楽の裾野を広げるためには、マンドリン音楽教育の現場を充実させ、プロフェッショナルの演奏家たちが活躍する現場を広げ、それに接した若い人達が、「自分もあのようにやってみたい・なってみよう」と夢見て目標を持つ事ができる環境をまず作る事が必要不可欠と考えました。

◇JSYMO の理念

- *指導者と指揮者が手を携え演奏における一定以上の技術と音楽性を持たせて、マンドリン合奏の更なるレベルの底上げをはかること
- *マンドリン合奏を通して、将来的に専門家を輩出していける土壌を作ること
- *結果として、マンドリン属やギターの楽器の素晴らしさに触れる人が一人でも増え、世の中に広めていけるという好循環を作ること

『スーパーユースマンドリンオーケストラ』を通して、若い人達がマンドリン属・ギターといった楽器の素晴らしさに触れる事。そして、学ぶ事は楽しいという事を実感してもらい、そのためにも指導者と指揮者が幅広く情報交換を重ねつつ、また互いに手を取り合いながら、切磋琢磨していく事も必要と感じます。

◇活動内容

JSYMOは、合宿形式のセミナーと、そこでの成果を発表するコンサートの両方を短期間で行う、育成プログラムです。

2023年度 JSYMO セミナー&コンサートは10月7日～9日、東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催いたします。

◇講師陣

音楽監督・指揮	橘 直貴
マンドリン属講師	柴田 高明
マンドリン属講師	佐古 季暢子
マンドリン属講師	堀 雅貴
ギター講師	吉住 和倫
コントラバス講師	内山 和重

◇これまでの活動

2017年8月 企画・立ち上げ

2018年8月17日～19日 第一期開催 26名参加

2019年8月15日～18日 第二期開催 35名参加

2020年8月20日～23日 新型コロナウイルス感染拡大のため延期

2021年11月20日～21日 第三期開催 12名参加

2022年8月18日～21日 第四期開催 14名参加

JSYMO の種

1999年1月24日、札幌市でマンドリンのコンサートが行われました。能うる限り質の良い合奏を造り上げようと立ち上げられたこのオーケストラを指揮していたのは、JSYMOの主宰者である若き日の橘直貴でした。このオーケストラの指揮を続けるうち、橘直貴の心の中で徐々に目指すものが生まれてきました。プログラムの挨拶文を読むと、その過程が見えます。2016年には「マンドリンのジュニアオーケストラを作りたい」という目標を掲げ、2018年にはついに「スーパーユース・マンドリンオーケストラ」が夏に静岡で開催されることになったと、喜びを込めて報告しています。マンドリンオーケストラと出会って静かに温めてきたJSYMOの種は20年後に花開いたのでした。

ジャパン・スーパーユース・マンドリンオーケストラ事務局

【E-mail】 info@youth-mandolin.org

【ホームページ】 <https://youth-mandolin.org>

